

市電のふるさと

NO.18
2008



試運転中の低床式路面電車「Hi-Tram (ハイ！トラム)」
〈撮影：市電の会賛助会員 野村耕一氏〉

もくじ

- | | | |
|--------|-------------------------------------------|-----|
| 特集 1 | 「市電と沿線の魅力掘り起こし事業」を行いました | 1~2 |
| 特集 2 | 「さっぽろを元気にする路面電車活用の基本計画検討フレーム」が
公表されました | 3 |
| 特集 3 | ハイブリッド型の低床式路面電車の試運転が行われました | 3 |
| Topics | | 4~6 |
| お知らせ | | 7 |

特集①

「市電と沿線の魅力掘り起こし事業」を行いました

「市電の会」では、平成18年度から、市電の走る街である中央区に対する区民の関心を喚起し、ふるさと意識や連帯感の高揚、地域の活性化を図るとともに、存続が決定された市電を、広く区民や市民、観光客に周知することにより、親しまれるものになろうと、「市電と沿線の魅力掘り起こし事業」を中央区との協働で行っています。

平成19年度は以下の事業を行いました。

① 市電沿線ぶらりスタンプラリー

平成19年8月19日(日)に行われた「市電フェスティバル」にあわせて、「市電沿線ぶらりスタンプラリー」を行いました。

これは、市電フェスティバルの会場となった電車事業所の隣接グラウンドを出発し、平成18年度に市電の会が企画・編集した「市電沿線ぶらりまちあるきマップ(以下まちあるきマップといひます)」(詳しくは「市電のふるさと」第17号をご覧ください)に紹介されている施設から、「札幌市資料館」、「豊平館」、「ギャラリー土土どっこい窯」の3カ所を巡り、再び電車事業所の隣接グラウンドに戻つ

てくるといふもの。参加賞として市電関係グッズを、また、抽選で、山鼻地区の連合町内会や民生委員などの地元組織から成る「山鼻未来・ネットワーク協議会」がフェスティバル会場内に出版した露店などで使える共通利用券を賞品として用意しました。

参加受付は、午前10時から正午で、63人も応募があり、参加者は大好きな市電での小旅行を存分に楽しんでいました。

② 「中央区健康づくり元氣会」との協働ウォーキング

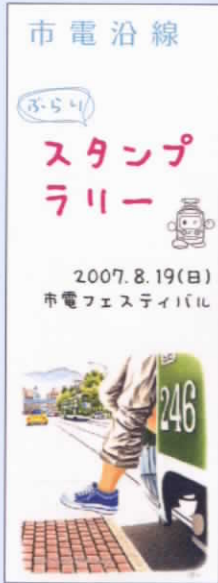
「中央区健康づくり元氣会」とは、グループ又は個人で健康づくりに取り組んでいる区民が集い、自主的な健康づくりの活動を企画し実践する会で、主な事業として、年に5回程度のウォーキングや、健康学習、交流会などを行っています。そのウォーキングの際に、まちあるきマップで紹介したコースを歩くイベントが2回行われました。

1回目は平成19年6月27日(水)。市電沿線の魅力に触れながら、まちあるきマップ第2号で紹介されている中島公園から豊平川の川べりの散策を行いました。当日は天候も良く、川から心地よい風が吹く中、参

加者は初夏の自然の素晴らしさを感じながら散策を楽しんでいました。

2回目(平成19年10月24日・水)は、まちあるきマップ第3号の藻岩山散策コースを歩きました。電車事業所から中央図書館へ向かい、そこから折り返して藻岩山のふもと

の道を水道記念館へ向かいました。この日もまた天候に恵まれ、秋晴れの下、市電沿線の紅葉を楽しみながら散策、解散後はそのまま水道記念館を見学する方もいらっしゃいました。



豊平川河川敷ウォーキング



藻岩山山麓ウォーキング

③ 市電沿線歴史再発見フォトラリー

平成19年12月20日(木)から平成20年2月11日(月)にかけて、「市電沿線歴史再発見フォトラリー」を行いました。

まちあるきマップに紹介されている施設のうち、札幌に現存する最古の鉄筋コンクリート造りのオフィスビルなど、歴史を感じさせる10施設をラリーポイントに選定。参加者には市電に乗って施設を巡り、施設の写真を撮って市電の会事務局に送っていただきました。3カ所以上巡った方には、抽選で、「ぶらり賞」として「おまち道産ラーメン」が、10カ所全部回った方には、さらに抽選で、「まちあるき賞」として「QUOカード」がダブルチャンスとして当たりました。ラリー参加者の中には、市電沿線の歴史に思いを馳せるとともに、施設を巡る中で区民の親切な心に触れた方もおられ、さらに思い出深いものになったようです。平成20年1月26日(土)の北海道新聞朝刊に、次のような投書が寄せられましたので、ここで紹介します。

「親切に支えられ市電沿線めぐり」

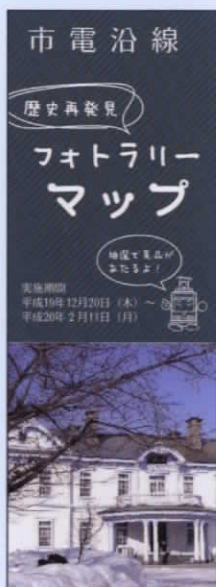
札幌の路面電車(市電)沿線にある歴史的な建築物など10施設を撮影して回る「市電沿線歴史再発見フォトラリー」が実施されていることを知り、私も挑戦しようと先日、「一日乗車券」を購入、カメラをもって10数年ぶりに市電に乗り出掛けました。

知らないところに行くには、歩き回

るより人に聞くのが一番と、市電を降りると早速、花屋さんに入り、ある施設までの道順を尋ねました。「ここは分かりにくいんだよね」と言っていて、丁寧に地図を描いてくださり、それを見ながら探し歩くと、住宅地の中で見つけたり、たどり着くことができました。

また、尋ねた相手の通行人の方が、目的の施設近くまで案内してくれたほか、道端で「フォトラリーマップ」を見ていると、「どこに行きたいんですか」と声を掛けてくれて、場所を教えてくださいました。

1日で10施設を巡ることができたのは、人々の優しさや親切心のおかげと感謝しつつ、私も温かい気持ちで人に接することの大切さを再認識した「小さな旅」でした。



④ 市電沿線ぶらりまちあるきラリー in 中島公園

平成20年2月3日(日)、「市電沿線ぶらりまちあるきラリー in 中島公園」を行いました。これは、市電沿線の魅力のひとつである中島公園に触れてもらおうと、平成20年1月25日(金)から平成20年2月11日(月)にかけて行われた「雪遊び in 中島公園」にあわせて行ったもの。当日は、雪遊び会場に隣接し



て受付テントを設置。参加者はテントで受付を済ませると、まちあるきマップ第2号に紹介されている施設のうち、「豊平館」、「札幌コンサートホールKitara」、「中島児童会館」、「道立文学館」を巡り、それぞれの施設をバックにスタッフがインスタントカメラで写真を撮影。撮影した写真を持って再び受付テントに戻ると、ラリーマップにスタッフが写真を貼り付けてお返しすることで、思い出として残るものとなりました。また、参加者全員に参加賞として市営交通関連のグッズと、抽選で当たった方には洋菓子店の「シャモニー」で販売している、市電を描いた絵で縁取った「西線ロール」を差し上げました。

参加者は77人で、公園周辺のホテルに宿泊していた道外の観光客の方や親子で参加される方が多く、冬のちよっとした思い出作りに市電の会が貢献することができたとともに、市電沿線にある中島公園の魅力であらためて考えていただくことができました。

また、ボランティアスタッフには、当会賛助会員のほか、専門学校北海道体育大学の学生8人も参加、中央区で推し進めている学生との連携事業にも貢献しました。

特集②

「さっぽろを元気にする路面電車活用の基本計画検討フレーム」が公表されました

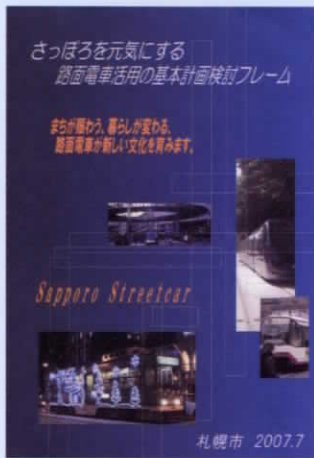
平成19年7月、札幌市は、路面電車の活用について、今後の検討項目や進め方の枠組みをまとめた「さっぽろを元気にする路面電車活用の基本計画検討フレーム」を公表しました。

このフレームでは、路面電車がまちづくりに貢献できる乗り物であることを他都市の事例なども交えながら紹介しているほか、今後の検討課題として、収支改善と沿線の活性化(沿線活性化の実例のひとつに、当会が中央区と協働で作成した「市電沿線ぶらりまちあるきマップ」も取り上げられています)、都心の活性化、路面電車の魅力向上、都心における交通課題等への対応、路面電車活用の効果、事業経営のあり方をあげています。

また、札幌市では、このフレームに基いて、市民、関連事業者、行政機関等と情報を共有しながら議論や検討を進めることとしており、具体的には、既存路線を活用した沿線の活性化に向けた検討や、都心の新たな集客交流拠点の整備計画等を踏まえ、まちづくりと一体となった延伸ルートやその整備内容、費用対効果、事業経営のあり方等について検討を行うこととしています。さらに、これらの検討結果については、事業実現の可能性や実施内容等を検証し、事業化を判断するために必要な基本計画(案)として平成21年度までにまとめる方針が示されています。

これまでも、札幌市では路面電車の活用について、さまざまな機会をとらえて情報提供を図ってきましたが、今後、さらにフォーラム等を実施することにより、市民の意向把握や意見交換を行っていくこととしています。

このフレームは、市役所、各区役所、交通案内センターで配布されています。問い合わせは札幌市市民まちづくり局総合交通計画部交通企画課(TEL 011-211-2492)へ。



特集③

ハイブリッド型の低床式路面電車の試運転が行われました

平成19年11月22日(木)から平成20年3月18日(火)までの約4カ月間、札幌市電の軌道を使ってハイブリッド型の低床式路面電車の走行試験が行われました。これは、札幌市が、老朽化した路面電車を更新するに当たり、多雪寒冷地に適する低床車両の導入を検討していたところに、研究機関から実路線を使った走行試験実施の提案があったため、共同で行うこととなったものです。

試験に使用されたのは「SWIMO(スイモ)」「川崎重工業(株)製」と「Hi-Tram(ハイ!トラム)」「(財)鉄道総合技術研究所製」の2台。どちらもブレーキをかけたときに発生するエネルギーを電気としてバッテリーに蓄えて、加速するときにその蓄えられた電気を利用するというもので、通常の車両より10~15%の省エネ効果があるとのこと。また、停留場との段差が20cmほどと、乗り降りしやすいとなっています。

主な試験内容としては、加速・ブレーキ性能、エネルギー消費量、バッテリー性能、床下や台車への着雪状態などのデータ収集といったものです。

3月9日(日)には、「Hi-Tram」の試乗会も行われ、1,070人の応募者の中から抽選で選ばれた63人が乗車し、「静かで乗り心地がよい」といった声が多く上がりました。

ハイブリッド車についての主な仕様は以下のとおりです。



Hi-Tram (ハイ!トラム)



SWIMO (スイモ)

	Hi-Tram (ハイ!トラム)	SWIMO (スイモ)
車両長	12.9m	15.0m
構造	単車体構造	3車体連接構造
空車重量	24 t	30 t
客室の床高さ	35cm	36cm
停留場との段差	20cm	18cm (出入口床高さは33cm)
定員	44人 (うち座席定員20人)	62人 (うち座席定員28人)
駆動用バッテリー	リチウムイオン電池 (運転台のまわりに搭載)	ニッケル水素電池 (客室座席下に搭載)
最高速度 (軌道線)	40km/h	40km/h

Topics 1

NHKギャラリーでイラスト展「さっぽろ市電日記」が行われました

水彩画作家で当会賛助会員でもある鈴木周作さんが、NHKギャラリー（中央区大通西1丁目）で、イラスト展「さっぽろ市電日記」を開きました（平成19年7月13日～7月19日）。これは、市電のある街の魅力を伝えようと開かれたもので、期間中約600人の来場がありました。会場には藻岩山をバックにした市電や、以前市電が走っていた麻生周辺や豊平駅の昔を描いたものなど約30点を展示、来場者は興味深そうに絵を眺めていました。開催した鈴木さんからは、「御来場者の皆様それぞれの市電への想いに触れられたのが大きな収穫でした。」との感想が寄せられました。

展示されたイラストのひとつです



Topics 2

市電フェスティバルが行われました

平成19年8月19日（日）、電車事業所（南21条西16丁目）と、隣接する市立伏見小学校サブグラウンド（南22条西15丁目）を会場に、市電フェスティバルが行われました。

これは、中央区のシンボリック存在である市電をテーマにしたイベントを実施することにより、市電に対する愛着感を一層深めるとともに、市電沿線の区民のふるさと意識を醸成し、地域の活性化を図ることを目的に開催されたもので、今回で3回目となります。

好天の中、約8,000人の方が来場し、電車事業所では、市電と綱引き、市電と写真撮影、車両工場見学などが行われました。

伏見小サブグラウンドでは、ライブ演奏などのステージイベントや地下鉄の形をした乗用列車「ミニてつくん」の運行、市電や地下鉄の部品を扱ったチャリティーバザー、「山鼻未来・ネットワーク協議会」による露店などが行われました。

市電の会もブースを出店し、水彩画作家の鈴木周作さんの絵画展や市電沿線ぶらりスタンプラリー、賛助会員の募集を行いました。当日は、ボランティアとして13人の賛助会員の方々にお手伝いいただきました。



市電と綱引き



ミニてつくん



市電や地下鉄の部品販売



車両工場見学



市電の会ブース

Topics 3

「第2回市電ナイトフォーラム」が行われました

山鼻未来・ネットワーク協議会の主催により、平成19年11月1日(木)「第2回市電ナイトフォーラム」が開催されました。これは、地域の歴史とともに歩んできた乗り物である市電を、重要な乗り物としてだけでなく、札幌の街や地域、市民が元気になる道具として再認識し、市電のある街山鼻地区のまちづくりの推進を考えることを目的に実施されたもので、31名の参加がありました。

第1幕では、講話を2つ行い、前半は、長年市電沿線に住んでいる当会賛助会員の村山ケイ子さんが、市電の昔話を語ってくれました。参加者は、「そういうこともあったね」と、昔を懐かしんでいました。後半は、札幌市市民まちづくり局交通企画課長の三井雅勝さんから、札幌市が平成19年7月に発表した「さっぽろを元気にする路面電車活用の基本計画検討フレーム」を中心に、札幌におけるこれからの路面電車の活用の議論についての話がありました。

休憩後の第2幕は、懇親会として、市電沿線の飲食店の味や、当会事務局による市電にまつわるクイズなどを楽しみつつ、市電が通る山鼻の魅力を満喫しました。

スケジュール

第1幕	第2幕
17:00 電車事業所を出発	18:15 電車事業所出発
17:30 西4丁目着	18:40 すすきの着
17:30 西4丁目出発	18:40 すすきの出発
18:00 電車事業所着(休憩)	19:10 電車事業所着(解散)



Topics 4

市電と電停へのイルミネーション装飾が行われました

平成18年度に引き続き、イルミネーション電車が、平成19年12月10日(月)から平成20年1月14日(月)まで運行されました。これは、当会会長の吉中新太郎が会長となっている路面電車沿線活性化協議会が企画したもので、市電や藻岩山ロープウェイの乗車券などがセットになった「さっぽろロマンティックパスポート」の販売など、他の路面電車沿線の活性化事業と連携してイルミネーション装飾を実施することにより、路面電車沿線地域における回遊性を向上させ、観光・商業振興を図ることを目的に行われたものです。藻岩山の自然をテーマにした装飾は、札幌市立大学の学生が行ったもので、若い感性により飾り付けられた市電が札幌の街をきれいに彩っていました。

また、この協議会では、平成20年1月25日(金)から平成20年2月11日(月)まで、中島公園通電停と電停から中島公園入り口までの街路樹のイルミネーション装飾も実施。道行く人の目を楽しませていました。

このほか、札幌市中央区の大通地区にある6つの商店街でつくる「札幌中心部商店街活性化協議会」も、西4丁目電停をイルミネーションで装飾(平成19年12月10日・月～平成20年2月11日・月)。これは、市電を活用して沿線地域の活性化を図ろうと行われたもので、青と白のイルミネーションに目を留めた市民からは、「きれいだね」という声が上がっていました。



イルミネーション電車



中島公園通電停でのイルミネーション

Topics 5

「さっぽろロマンティックパスポート」が発売されました

平成19年12月10日(月)から平成20年3月10日(月)まで、「さっぽろロマンティックパスポート」が発売されました。これは、市電沿線を巡りながら、藻岩山の自然や、藻岩山やノルベサの観覧車「NORIA」から見える札幌の風景、札幌の味覚などを楽しみ、冬の思い出作りをしてもらおうと、札幌市や旅行代理店などからなる「さっぽろロマンティックパスポート実行委員会」が昨年に引き続き発売したもの。市電1日乗車券と、もいわ山ロープウェイと雪上車「もーりす号」の往復乗車引換券、NORIAの乗車券が付いて1,500円と、通常料金より540円もお得なうえ(市電に2回乗車の場合)、市電沿線の飲食店など43店舗で料金が割引になるなどの特典もありました。

また、発売に当たっては、昨年に引き続き、市電沿線のホテルなどに協力を得るとともに、発売時期を昨年より約1カ月早めたことなどにより、売り上げが昨年の1.5倍の2,235枚となりました。

購入した方からは、「市電・ロープウェイ・観覧車と観光のポイントを押さえていた」、「普段行かない場所に行くきっかけになった」という声が寄せられました。

なお、このパスポートは、平成20年度も発売される予定です。



Topics 6

ギャラリー土土どっこい窯で「さっぽろ市電フォトコンテスト」の作品展示が行われました

ギャラリー土土どっこい窯(中央区南15条西15丁目)で、(株)札幌市交通事業振興公社の主催により、これまで3回実施された「さっぽろ市電フォトコンテスト」の優秀作品の展示が行われました(平成20年4月2日・水~14日・月)。これは、ギャラリーの運営者で市電の会賛助会員の松浦洋昌さんから事務局に、「さっぽろ市電フォトコンテストの写真展示を市電の車両内で見たい、素晴らしい写真だと思いましたが、短い乗車時間だったので、動き回って見ることもできなかったのが残念な思いがしました。路面電車の魅力をより多くの方に知っていただきたいので、私のギャラリーで写真の展示会を行うことはできないでしょうか?」というお話があり、当会が仲介して、(株)札幌市交通事業振興公社と協議した結果実現したものです。

来場者は、展示された写真の素晴らしさに感心しながら、市電のある街の魅力に触れていました。



お知らせ1

「路面電車の日」を記念した
共通ウィズユーカードが発売されます

平成20年6月4日(水)から、「路面電車の日(6月10日)」を記念した共通ウィズユーカードが発売されます。今回の図柄は、環境にやさしい市電をイメージしたもので、発売枚数は5,000枚。なくなり次第発売終了いたします。ご希望の方はお早めに購入してください。発売場所は、札幌市営交通の各定期券発売所・札幌市交通案内センター・市電車内・地下鉄駅構内売店(キヨスク・ドナ)。詳しくは、(株)札幌市交通事業振興公社(電話011-251-0822)へお問い合わせください。



お知らせ2

「市電の会」賛助会員募集

市電の会では賛助会員を募集しています。市電の好きな方ならどなたでも入会できます。年会費は、個人1,000円、団体10,000円。入会時には会員バッジと特製ウィズユーカード「さっぽろ市電歴史シリーズ」(500円)を差し上げるほか、会報「市電のふるさと」をお送りします。

入会をご希望の方は、中央区役所や区内の各まちづくりセンターでお渡しする入会申込書に会費を添えてお申し込みください。また、郵便局から払い込むこともできます。(「払込取扱票」(赤色)に口座番号02740-6-94026と加入者名を「市電の会」と記入のうえ払い込んでください。手数料はかかりません。)

さらに、インターネットによる受付も行っています。詳しくは、中央区ホームページの「市電倶楽部」をご覧ください。

URL <http://www.city.sapporo.jp/chuo/>

申し込み
問い合わせ

市電の会事務局
札幌市中央区南3条西11丁目
札幌市中央区役所地域振興課(まちづくり調整担当)
TEL (011) 231-2400内線253 FAX (011) 511-7234